

吉野ヶ里町立東脊振小学校

学校教育目標

# 校長室だより 夢に向かって輝く児童の育成

児童数 360名 No.84



令和3年10月29日 文責 校長 林 寛 ポカもん

8月25日に始まった2学期も、折り返しを過ぎてあと2カ月をきりました。幸い新型コロナウイルス感染症の拡大にブレーキがかかり、子供たちの学校生活への影響は最小限に押さえられています。しかし油断せずに、新しい生活様式を守りながら、2学期の残りを充実した時間となるように支援していきたいと思ひます。

## ファミリー参観 ありがとうございます

今年度になってようやく2回目の授業参観を実施しました。授業中の子供たちの様子はどうだったでしょうか。密を避けるために2学年ずつを割り当てたために、一旦外の車の中で待っていただいた保護者の方もいらっしやったようです。ご理解とご協力ありがとうございました。



参観された授業は、「道徳」が多かったと思ひます。これは、「ふれあい道徳」として各学校で実施されている参観日に合わせて、道徳の授業を見てもらひ、授業のテーマについて親子で考える時間にしたいという佐賀県全体の学校で取り組んでいるものです。お家の方に見てもらっている子供たちは、いつもに増して姿勢や返事が良く、張り切っている様子がわかりました。応援してもらっているという気持ちの表れだろうと思ひます(決してちゃんとしないと怒られるから…ではなく)。

## 出前授業

「タイムカプセル」という会社をご存知でしょうか。岐阜県に本社があるソフトウェア会社で、吉野ヶ里町内にも事業所があり、Jリーグやプロ野球などのスマホアプリを開発し提供している会社です。その会社の相沢謙一郎社長さんを招いて、6年生がプログラミングについての学習をしました。プログラミング学習への入門ということで、ニンテンドーDSというゲーム機を準備していただき、その機能を使っての学習が進められました。プログラミングに必要な命令の言語や数字をルールに従って入力すると、ゲーム機から文字や音が出るようになりました。また、計算ができるようになりました。6年生はプログラミングを身近に感じる事ができたのではないかと思ひます。吉野ヶ里町報でも取り上げられます。



## 給食時のはしについて

町内の学校では、給食時の米飯提供が始まり3年目になりますが、箸については各家庭で準備をしてもらっています。「箸もクッキングセンターで用意してもらえないか」というお願いをしていますが、今のところ難しいようです。「自分で使った箸を持ち帰り、自分で洗い、はし箱に入れランドセルへ…」というルールを作っている家庭もあると聞き、自主性を身に付けたり食育につながったりする良い取り組みだなあと感じています。1年生でもできそうですね。



11月1日(月)

県下一斉 ノーテレビ・ノーゲームデー